

株式会社ヤクルト本社

第58期中間期 株主通信

平成21年4月1日～平成21年9月30日



CONTENTS

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト | 10 第2四半期個別財務諸表等 |
| 03 セグメント別業績概況 | 11 会社情報 |
| 06 所在地別セグメント概況 | 13 コラム「ヤクルト ビューティエンス」 |
| 07 第2四半期連結財務諸表等 | |



To Our Shareholders

ごあいさつ



株主の皆さまには、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。

ここに、平成21年4月1日から平成21年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成21年12月 代表取締役社長

堀 澄也

ヤクルト企業理念

私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

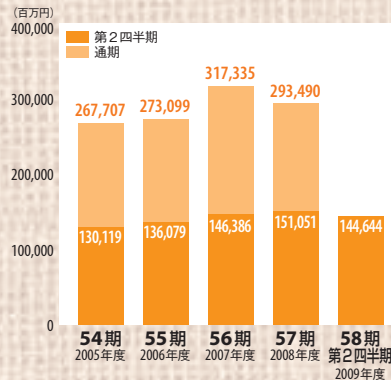
当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前年度後半から続いた急激な景気後退が持ち直しに転じつつあるものの、企業収益の低迷による設備投資の抑制や雇用情勢の悪化が続き、個人消費も低水準で推移するなど、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。

連結業績ハイライト

● 売上高



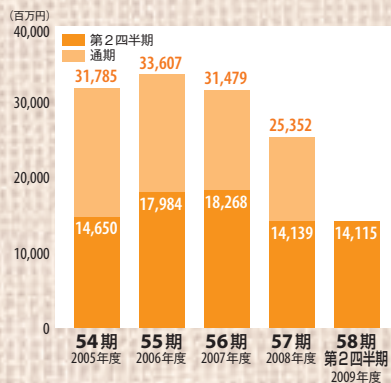
た。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の整備に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は144,644百万円（前年同期比4.2%減）となりました。利益面においては、経常利益は14,115百万円（前年同期比0.2%減）、四半期純利益は6,635百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

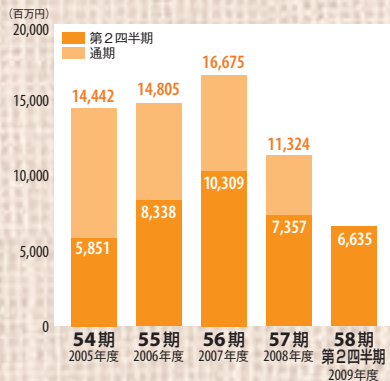
通期の見通し

売上高	288,000百万円
経常利益	22,500百万円
当期純利益	9,500百万円

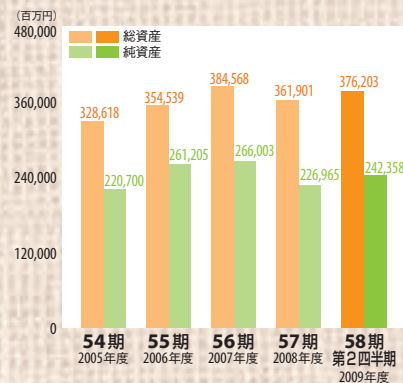
● 経常利益



● 四半期純利益



● 総資産／純資産



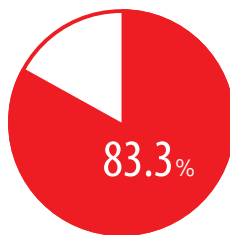
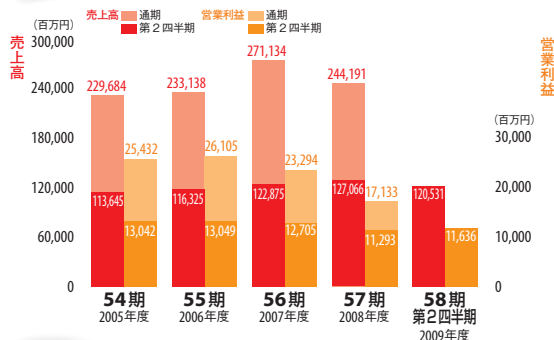
Financial Result by Segments

飲料および 食品製造販売 事業部門

第2四半期連結累計期間

売上高 120,531 百万円
(前年同期比: 5.1% ↓)

営業利益 11,636 百万円
(前年同期比: 3.0% ↑)



売上高構成比

乳製品については、「乳酸菌 シロタ株」の価値訴求に注力した販売活動を引き続き展開しました。一方、ジュース・清涼飲料については、栄養機能食品「タフマンV」や低GI炭酸飲料「THORPEDO Sparkling」などの自動販売機への配荷促進を図り、売り上げの増大に努めました。海外については、現在27の事業所および1つの研究所を中心に、テスト販売を含め31の国と地域で主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っております。これらの結果、国内と海外を合わせた飲料および食品製造販売事業部門の連結売上高は120,531百万円(前年同期比 5.1%減)となりました。

NEWS & TOPICS

2009年上半期 ニュース&トピックス

乳製品乳酸菌飲料「ヤクルトSHEs(シーズ)」リニューアル & 「食べるヤクルトSHEs(シーズ)」を新発売

「コラーゲン」や「鉄」など女性にうれしい成分が入った乳製品乳酸菌飲料「ヤクルトSHEs(シーズ)」のリニューアル品を9月29日から全国の店頭で発売しました。今回のリニューアルでは、30~40代女性のニーズが高い「コラーゲン」を10%増量し、甘さを5%低減しています。また、シリーズ品として、「食べるヤクルトSHEs(シーズ)」を9月29日から西日本地区で先行発売しました。ふるふるっとした新食感が魅力のヤクルトシリーズ初のデザートタイプの登場です。

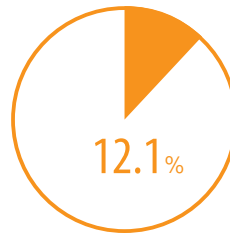
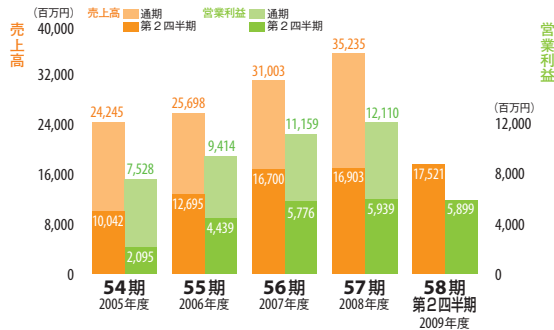


医薬品 製造販売 事業部門

当第2四半期連結累計期間

売上高 17,521 百万円
(前年同期比: 3.7%▲)

営業利益 5,899 百万円
(前年同期比: 0.7%▼)



売上高構成比

がん化学療法剤「エルプラット」の適正使用を推進するとともに、がん化学療法剤「カンプト」および制吐剤「シンセロン」の売り上げ増大ならびに活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」のシェア拡大など、がん領域に特化した販売活動に力を注ぎました。海外では、米国で「カンプト」の後発品発売によって市場シェアが減少していることから、カンプト原薬の供給価格を市場実態に柔軟に対応したものにすることによって価格競争力を強化し、市場シェアの維持回復に努めました。これらの結果、医薬品製造販売事業部門の連結売上高は17,521百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

健康機能性飲料の新ブランド 「ぎゅっと健康」シリーズを新発売

健 健康機能性飲料・食品市場においては、“必要な時に、必要な場所で、必要な量を”手軽に摂取できることが望まれています。そこで、当社では、小さくて軽く携帯性に優れた日本最小の小型紙容器（65ml）の中に、現代人が必要としている機能性素材をぎゅっと凝縮した、新たな健康機能性飲料「ぎゅっと健康」シリーズを新発売します。その第1弾として、「カシス」、「コエンザイムQ10」、「紫蘇（しそ）」の3品をラインアップしました。



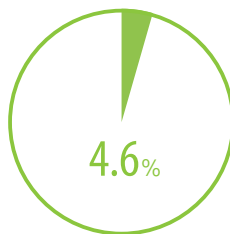
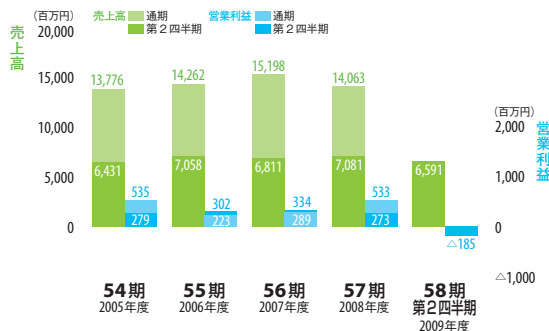
Financial Result by Segments セグメント別業績概況

その他 事業部門

第2四半期連結累計期間

売上高 6,591 百万円
(前年同期比: 6.9% ↓)

営業利益 △185 百万円
(前年同期比: —)



化粧品については、主力ブランドである「パラビオ」進化型シリーズおよび「リベシィ」シリーズにおいて、訪問販売チャネルの特徴を活かしたカウンセリング型訪問販売活動を展開しました。また、7月には新しいスキンケアブランド「リベシィホホワイト」シリーズ4品を発売し、お客さま満足度の向上を図りました。

一方、プロ野球興行については、本年がヤクルト球団創設40周年となる節目の年であることから、多数の記念イベントを開催するなど、入場者数の増大に努めました。これらの結果、その他事業部門の連結売上高は6,591百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

Yakult Beautiensから 美白ブランド「リベシィホホワイト」4品が新登場

高い保湿力と香りが好評の「リベシィ」に、美白ニーズに対応した新シリーズ「リベシィホホワイト」4品（「クレイバック」「ローション」「エッセンス」「UVカットミルク」）が新登場。2009年7月1日から全国で新発売しました。「リベシィ」の強みである乳酸菌生まれの高い保湿力に加え、高い美白力で肌本来の白さへと導きます。日々の紫外線や乾燥などによって受ける肌アレを防ぎ、しっとりなめらかなお肌に保つ、医薬部外品シリーズです。



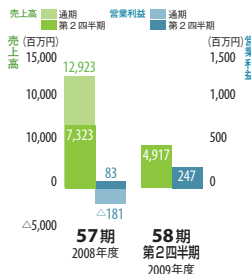
Financial Result by Regions

所在地別セグメント概況



ヨーロッパ地域

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリア、イタリアなどで販売しています。新規進出国であるイタリアの販売実績は堅調に推移していますが、既存進出国を中心としたプロバイオティクス市場は厳しい経済の影響を受け、また、ヨーロッパ地域全体で他社との競争が激化しています。

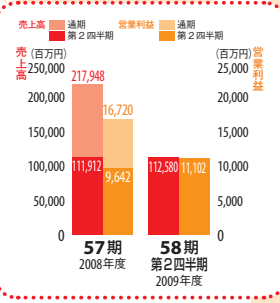


ヨーロッパ地域

売上高**49**億円 (前年同期比: 32.9% ↓)

日本

売上高**1,125**億円 (前年同期比: 0.6% ↑)

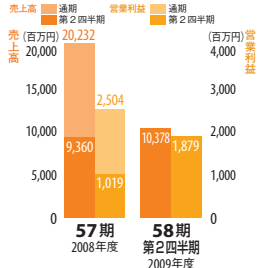


アジア・オセアニア地域

売上高**103**億円 (前年同期比: 10.9% ↑)

アジア・オセアニア地域

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インド、中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。中国では、広州、上海、北京を中心に、その周辺都市へ販売地域を拡大しているほか、天津市に中国で3番目となる工場の建設準備を進めています。インドにおいては、9月にムンバイの店頭チャンネルで「ヤクルト」の販売を開始しました。

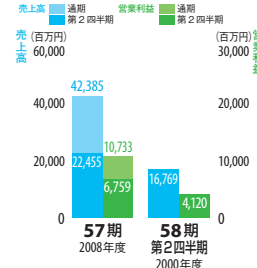


米州地域

売上高**167**億円 (前年同期比: 25.3% ↓)

米州地域

米州地域においては、ブラジル、メキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アルゼンチン、米国などでは「ヤクルト」を輸入販売しています。米州地域全体として現地通貨ベースの売上高は前年同期を上回りましたが、円換算ベースの売上高については為替相場の変動の影響により前年同期を下回りました。



Consolidated Financial Statements

第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第57期連結会計年度 平成21年3月31日現在	第58期第2四半期 平成21年9月30日現在
資産の部		
流動資産	162,402	171,791
現金及び預金	66,352	71,762
受取手形及び売掛金	48,590	52,207
商品及び製品	7,054	7,061
仕掛品	1,903	2,611
原材料及び貯蔵品	22,256	21,240
その他	16,803	17,502
貸倒引当金	△ 559	△ 594
固定資産	199,499	204,411
有形固定資産	131,320	132,320
建物及び構築物	40,661	45,364
その他	90,659	86,955
無形固定資産	4,375	4,755
のれん	722	641
その他	3,653	4,114
投資その他の資産	63,802	67,335
投資有価証券	51,126	55,657
その他	13,004	12,123
貸倒引当金	△ 327	△ 445
資産合計	361,901	376,203

科目	第57期連結会計年度 平成21年3月31日現在	第58期第2四半期 平成21年9月30日現在
負債の部		
流動負債	93,627	93,972
支払手形及び買掛金	22,845	25,065
短期借入金	36,979	36,560
未払法人税等	1,174	2,575
賞与引当金	4,738	5,585
工場再編損失引当金	1,027	122
その他	26,862	24,061
固定負債	41,308	39,872
長期借入金	4,388	4,019
退職給付引当金	16,394	17,035
役員退職慰労引当金	332	302
工場再編損失引当金	2,095	2,270
負ののれん	344	326
その他	17,752	15,918
負債合計	134,935	133,844
純資産の部		
株主資本	241,514	245,745
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	41,135	41,135
利益剰余金	178,214	183,131
自己株式	△ 8,953	△ 9,640
評価・換算差額等	△ 35,866	△ 28,247
その他有価証券評価差額金	△ 1,440	1,108
為替換算調整勘定	△ 34,425	△ 29,355
少数株主持分	21,317	24,861
純資産合計	226,965	242,358
負債・純資産合計	361,901	376,203

第2四半期連結損益計算書

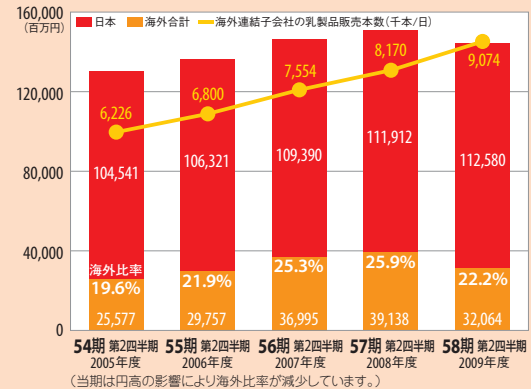
単位：百万円

科目	第57期第2四半期累計	第58期第2四半期累計
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	151,051	144,644
売上原価	71,361	66,149
売上総利益	79,690	78,494
販売費及び一般管理費	68,804	67,259
営業利益	10,886	11,235
営業外収益	4,541	3,900
受取利息	1,569	949
受取配当金	376	397
持分法による投資利益	1,699	1,334
その他の営業外収益	896	1,217
営業外費用	1,287	1,020
支払利息	464	410
為替差損	400	125
支払手数料	205	24
その他の営業外費用	217	460
経常利益	14,139	14,115
特別利益	418	72
固定資産売却益	310	38
その他の特別利益	108	33
特別損失	900	2,869
固定資産売却損	4	26
固定資産除却損	228	270
減損損失	—	2,071
工場再編損失引当金繰入額	197	175
その他の特別損失	470	325
税金等調整前四半期純利益	13,657	11,318
法人税等	4,158	3,342
少数株主利益	2,141	1,340
四半期純利益	7,357	6,635

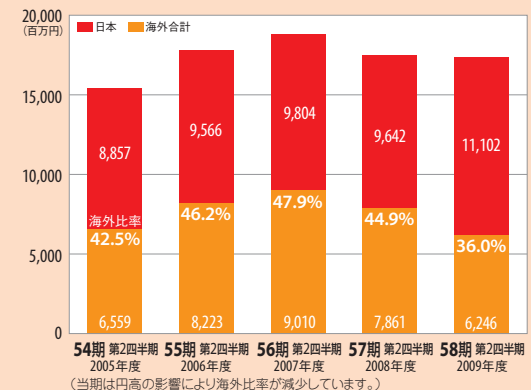
第58期第2四半期のポイント

1. 為替等の影響により減収
2. 海外は現地通貨ベースで引き続き好調
3. 国内飲料は経費削減等の効果により増益

売上高推移（連結）



営業利益推移（連結）



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第57期第2四半期累計	第58期第2四半期累計
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,657	11,318
減価償却費	9,143	9,202
減損損失	—	2,071
引当金の増減額(△は減少)	884	454
受取利息及び受取配当金	△1,945	△1,347
支払利息	464	410
持分法による投資損益(△は益)	△1,699	△1,334
有形固定資産売却損益(△は益)	△77	258
投資有価証券評価損	—	205
その他損益	1,201	207
売上債権の増減額(△は増加)	△5,802	△2,443
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,236	1,547
仕入債務の増減額(△は減少)	6,644	1,741
その他資産負債の増減額(△は増加)	△1,701	151
小計	19,532	22,443
利息及び配当の受取額	2,496	1,833
利息の支払額	△470	△409
債務保証履行による支出額	—	△1,836
法人税等の支払額	△3,377	△1,655
法人税等の還付額	3,641	745
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,822	21,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,905	△3,321
定期預金の払戻による収入	3,620	3,544
固定資産の取得による支出	△16,194	△12,904
固定資産の売却による収入	946	208
投資有価証券の取得による支出	△231	△14
連結範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△586	△34
その他	△492	△959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,843	△13,479

科目	第57期第2四半期累計	第58期第2四半期累計
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△825	△960
長期借入による収入	855	60
長期借入金の返済による支出	△819	△1,128
リース債務の返済による支出	△2,829	△2,811
配当金の支払額	△2,154	△1,715
その他	478	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,295	△6,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,984	4,498
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,301	5,571
現金及び現金同等物の期首残高	74,894	62,665
現金及び現金同等物四半期末残高	73,593	68,236

ポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益11,318百万円に加え、仕入債務の増加およびたな卸資産の減少等があったことにより21,120百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設および増設による固定資産の取得があったこと等により△13,479百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債権の返済および配当金の支払により△6,567百万円となりました。

第2四半期個別貸借対照表

単位：百万円

科目	第57期 平成21年3月31日現在	第58期第2四半期 平成21年9月30日現在
資産の部		
流動資産	91,340	91,572
固定資産	164,999	167,056
有形固定資産	71,031	66,460
無形固定資産	3,192	3,411
投資その他の資産	90,776	97,184
資産合計	256,340	258,628
負債の部		
流動負債	81,186	79,438
固定負債	22,437	22,658
負債合計	103,624	102,096
純資産の部		
株主資本	154,376	155,626
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	40,659	40,659
資本準備金	40,659	40,659
利益剰余金	89,975	91,227
利益準備金	7,779	7,779
その他の利益剰余金	82,196	83,448
固定資産圧縮積立金	740	735
別途積立金	81,000	76,200
繰越利益剰余金	455	6,512
自己株式	△7,376	△7,378
評価・換算差額等	△1,660	905
その他有価証券評価差額金	△1,660	905
純資産合計	152,716	156,532
負債・純資産合計	256,340	258,628

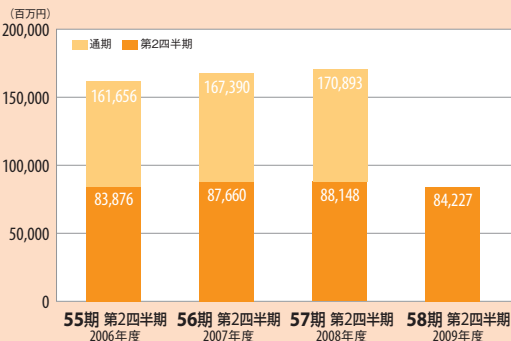
第2四半期個別損益計算書

単位：百万円

科目	第57期第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	第58期第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	88,148	84,227
売上原価	55,210	50,392
売上総利益	32,937	33,834
販売費及び一般管理費	31,077	29,508
営業利益	1,860	4,326
営業外収益	3,204	2,922
営業外費用	599	391
経常利益	4,465	6,856
特別利益	309	15
特別損失	454	2,681
税引前四半期純利益	4,320	4,191
法人税、住民税及び事業税	1,460	1,216
法人税等調整額	—	△3
四半期純利益	2,860	2,978

・個別に関しては、監査法人のレビューを受けておりません。

売上高推移（個別）



各地区販売会社・瓶詰会社

ヤクルト本社

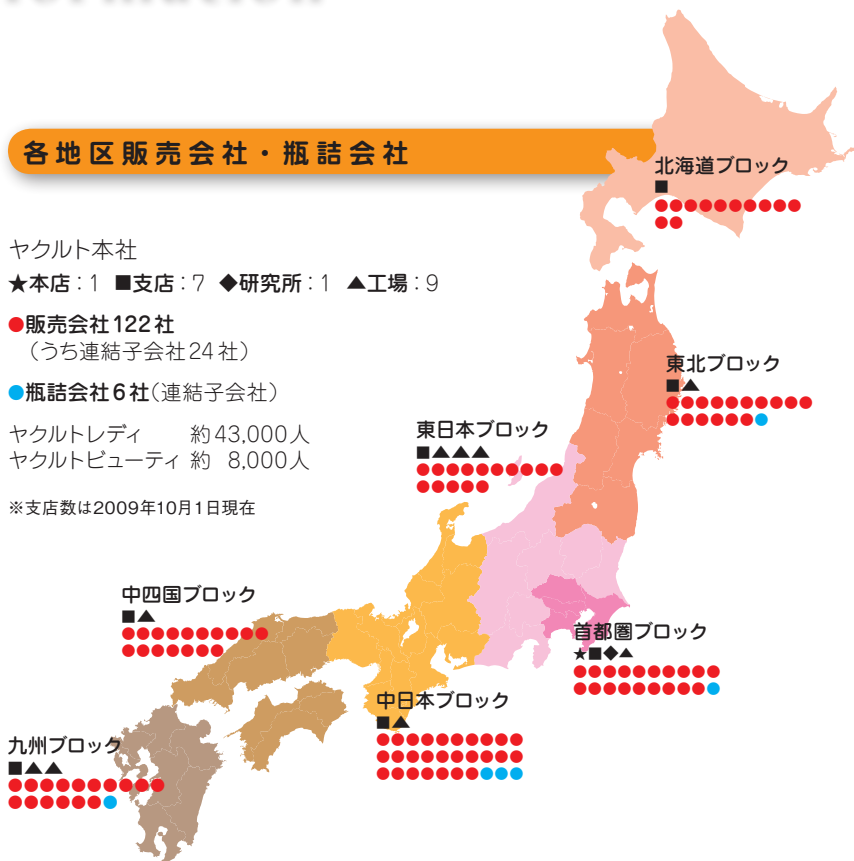
★本店：1 ■支店：7 ◆研究所：1 ▲工場：9

●販売会社122社
(うち連結子会社24社)

●瓶詰会社6社(連結子会社)

ヤクルトレディ 約43,000人
ヤクルトピューティ 約8,000人

※支店数は2009年10月1日現在



海外事業所

- 台湾ヤクルト株式会社
 - 香港ヤクルト株式会社
 - タイヤクルト株式会社
 - 韓国ヤクルト株式会社
 - フィリピンヤクルト株式会社
 - シンガポールヤクルト株式会社
 - インドネシアヤクルト株式会社
 - オーストラリアヤクルト株式会社
 - マレーシアヤクルト株式会社
 - ベトナムヤクルト株式会社
 - インドヤクルト・ダノン株式会社
 - 中国ヤクルト株式会社
 - 広州ヤクルト株式会社
 - 上海ヤクルト株式会社
 - 北京ヤクルト販売株式会社
 - 上海ヤクルト販売株式会社
 - ブラジルヤクルト商工株式会社
 - メキシコヤクルト株式会社
 - アルゼンチンヤクルト販売株式会社
 - アメリカヤクルト株式会社
 - ヨーロッパヤクルト株式会社
 - オランダヤクルト販売株式会社
 - ベルギーヤクルト販売株式会社
 - イギリスヤクルト販売株式会社
 - ドイツヤクルト販売株式会社
 - オーストリアヤクルト販売株式会社
 - イタリアヤクルト販売株式会社
- ヤクルト本社ヨーロッパ研究所

※●は連結子会社です。

連結子会社(69社)

主要な連結子会社

- 千葉県ヤクルト販売株式会社(「ヤクルト」等の販売)
- 株式会社神戸ヤクルト工場(「ヤクルト400」等の瓶詰)
- ヤクルト商事株式会社(「ヤクルト」等の販売用資機材の販売)
- 株式会社ヤクルトマテリアル(香料等の製造販売)
- ヤクルト食品工業株式会社(麺類の製造販売)
- 中央ヤクルト物流株式会社(「ヤクルト」等の輸送)
- 株式会社ヤクルト球団(プロ野球の興行)
- メキシコヤクルト株式会社(「ヤクルト」等の製造販売)

会社概要

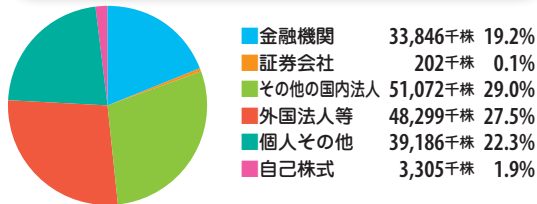
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574) 8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,933人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者351人および嘱託95人を含んでいます。

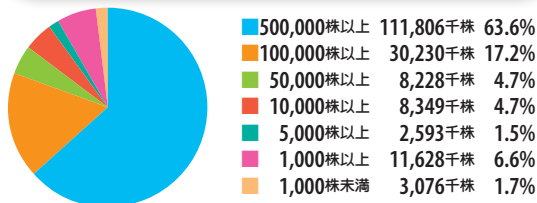
株式の状況

発行可能株式総数 700,000,000株
発行済株式総数 175,910,218株
株主数 27,307名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員

代表取締役社長	堀 澄也	取締役	阿部 晃範	取締役	池上 昭二
専務取締役	寺田 清	取締役	椎野 健一	取締役	竹村 雅行
専務取締役	川端 美博	取締役	田中 良明	取締役	荒木 敏博
専務取締役	衣笠 剛	取締役	菊池 清隆	取締役	阿部 泰久
専務取締役	甲斐 千束	取締役	若林 宏	常勤監査役	大坪 勝己
専務取締役	根岸 孝成	取締役	田中 正喜	常勤監査役	田中 竹義
常務取締役	村田 泰文	取締役	石川 文保	監査役	中村 輝夫
常務取締役	根岸 正広	取締役	ジャックヴァンサン	監査役	奥平 哲彦
取締役	阪本 重善	取締役	スヴェントマレン	監査役	角屋 良平
取締役	成田 裕	取締役	安田 隆二	監査役	池田 雅彦
取締役	澤田 治司	取締役	リチャードホール	監査役	谷川 清十郎

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エムエルピーエフエス ノミニー・ダノン アジア ホールディングス プライベートリミテッド	35,212	20.02
松尚株式会社	11,530	6.55
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	4,129	2.35
共進会	3,957	2.25
日本生命保険相互会社	2,920	1.66
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,666	1.52
麒麟ビバレッツ株式会社	2,458	1.40
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式3,305千株を保有しています。

乳酸菌のチカラを、素肌のチカラに。

Yakult Beautiens

半世紀以上も前、乳酸菌からお肌のための成分が誕生。以来、お客さまに「すこやかなお肌づくり」をおとどけています。ずっと変わらない「健腸美肌」をめざす熱意。これからも「お肌・からだ・こころ」すべての健康をまもり、提案し続けていきます。

ヤクルト ビューティエンスについて、よくいただく質問におこたえします。

Q. ヤクルトの化粧品の特長を教えてください。

A. ヤクルトでは、からだの内側からも外側からもすこやかで美しくなりたいとの考えから、乳酸菌研究で培った技術にもとづき、オリジナル成分を開発。高品質、高機能で安全性の高い化粧品づくりを目指しています。
ヤクルト独自の乳酸菌生まれのオリジナル成分は、肌本来が持つ、美しくなろうとするチカラを助け、すこやかなお肌へ導きます。

Q. オリジナル成分について教えてください。

A. ヤクルトオリジナルの成分は次のとおりです。すべて、乳酸菌研究から生まれた保湿成分です。
【乳酸菌はっ酵エキス（ミルク）】保湿・抗酸化・pHコントロールなどお肌を保護するはたらきがあります。
【乳酸菌はっ酵エキス（アロエ）】肌なじみがよく、すこやかなお肌へ導きます。
【高分子ヒアルロン酸】水分保持力が高く、みずみずしいお肌をたもちます。
【ラメラ粒子】健康な細胞をつくる力を補い、保湿力がアップするので、お肌の内側からうるおいます。
【ビフィズス菌はっ酵エキス（大豆）】ハリ・弾力のあるみずみずしい素肌に導きます。

Q. どこで買えますか？

A. 担当のヤクルトビューティ・ヤクルトレディがお届けします。お近くのヤクルト販売会社までお問い合わせください。また、オンラインショップ <http://www.yakult-beautiens.com> およびフリーダイヤル0120-8960-81（ファックス0120-8960-19）でも承っており、その際は宅配便でのお届けもお選びいただけます。横浜駅西口地下街「ザ・ダイヤモンド」では、直営店舗「Yakult Beautiens」を運営し、化粧品・健康食品を販売しています。気軽に商品をお試しいただけますので、ぜひお立ち寄りください。



PARABIO

パラビオ

オリジナルの保湿成分「ラメラ粒子」がずっと肌になじみ、すみずみまで浸透。細胞間脂質の構造に似ていることにより、肌本来のはたらきを補い、内側からみずみずしさとハリのあるお肌へ導きます。

医薬部外品 メイクアップ商品は除く

乳酸菌はっ酵エキス(ミルク)配合
高分子ヒアルロン酸配合 ラメラ粒子配合
7,350円(税込)～11,550円(税込)

高機能エイジングコントロールクリーム 2品



ACクリーム グラン 52,500円(税込) ACクリーム エクストラ 31,500円(税込)



REVECY

リベシィ

ヤクルトの乳酸菌発酵技術から生まれた3つの保湿成分をもっともチカラを発揮する黄金比率で配合。植物エキスとの相乗効果で、お肌本来の美しくなるチカラにはたらきかけます。

乳酸菌はっ酵エキス(ミルク)配合
乳酸菌はっ酵エキス(アロエ)配合
高分子ヒアルロン酸配合
4,200円(税込)～6,300円(税込)



REVECY

リベシィホワイト

お肌・からだ・こころのトータルバランスでつくるすこやかな美しさを提案。美白力+保湿力の相乗効果「新・美白力」で、お肌が本来持つ「うるおうチカラ」を補い、一年中、明るく透明感のあるお肌へ導きます。

医薬部外品

乳酸菌はっ酵エキス(ミルク)配合
乳酸菌はっ酵エキス(アロエ)配合
高分子ヒアルロン酸配合
4,200円(税込)～7,350円(税込)

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境対策などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さま向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま

- 当社「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を進呈（※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります）。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で主催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで（開幕～6月で1試合+7月以降で1試合）。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
株主総会	定時株主総会 毎年6月中 臨時株主総会 必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	電子公告 http://www.yakult.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京証券代行株式会社 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階) 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009
(郵便物送付先) 連絡先	

I. 株式に関するお手続きについて

平成21年1月5日(月)から、当社を含むすべての上場会社は株券電子化制度へ移行しており、株主さまの権利は電子的に証券会社等の口座で管理されております。これにともない、現在の各種手続きのお申し出先は以下のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い
これまでどおり、株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定等
お取り引きの証券会社等にお申し出ください。

なお、特別口座に登録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に關しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問合わせください。

II. 上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金につきましては、株主さま宛てに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」をご送付することが義務づけられました。

現在、「配当金領収証」にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましては、平成21年中にお支払いした配当金に係る「支払通知書」を、平成21年末または平成22年初めにご送付いたしますのでご承知置ください。また、口座振込を指定されている株主さまにつきましては、ご送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

なお、「支払通知書」および「配当金計算書」は、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。

Yakult

株式会社ヤクルト本社 証券コード2267
東京都港区東新橋1丁目1番19号 TEL:03-3574-8960 (大代表)

PRINTED WITH
SOY INK
本報告書は、環境配慮のため再生紙を使用し、
大豆由来インキで印刷しています。